

外務省【スポーツ外交推進事業】

2019年1月21日～26日

外務省のスポーツ外交推進事業で、1/21～26までベネズエラ相撲連盟から、監督1名、男子選手2名、女子選手2名の合計5名を招聘しました。

日本大学、日本体育大学、東京農業大学の3つの相撲部でトレーニングし、審判講習会を受け、大相撲を見学する等、充実した時間を過ごしました。



☆===ベネズエラ相撲連盟会長 アベル・フランコさんより

3つの大学で、相撲を学べたことがとても大きな糧となりました。基本は同じですが、各大学それぞれ練習に特徴があり、自分達のテクニックが通用する部分と通用しない部分が明確になりました。ベネズエラのSUMOはまだ歴史が浅いです。今回、このプログラムを体験し、ベネズエラで正しいSUMOを教えられるようになったことは、とても大きな成果です。この経験を生かして、ベネズエラで子供達にSUMOの面白さを伝えたいと思います。

